

タウン情報④

「大宮前新田開発功労者の碑」

～宮前 3-1 井口山慈宏寺内井口柱策氏墓地内に建立石碑の文面～

延宝三年 井口杢右衛門

寛文十三年 井口八郎右衛門

当村開起慈宏寺大檀那

元禄十六年河原九郎兵衛

貞享四年柏木久兵衛

以上の方々の指導で五日市街道の拡張整備が行われ、大宮前新田が開発されました。なお、高二小前の通りは新田ブチ通りと言われております。間口20間、奥行き250間の短冊型に地割して自宅から他人の土地を踏まないで畑に行けるようにしました。

森 泰樹著「杉並区史探訪」より抜粋

タウン情報⑤

～高二小誕生～

今から121年前、明治三十四年五月、高井戸村大字 久我山に高井戸村第二尋常小学校が建てられました。私の父・母・兄弟もそちらを卒業しました。建立時の学区域は久我山・大宮前・松庵・中高井戸の四つの大字に跨っていました。創立の頃は二学級でしたが、明治四十二年に増築して三学級になりました。授業は複式といって1・2年、3・4年、5・6年となっています。木造藁葺き屋根の平屋建てでした。

農繁期になると5年生は農家のお手伝いに行きました。農家から褒美として、ノートと鉛筆を頂いたような時代でした。学校を円の中心として半径300m程は見渡す限り畑でした。

大正時代の戸数:その後人口も増え、学校も増築され今日に至っています。



創立当時の高二小

タウン情報⑥

「井の頭通り」

甲州街道、松原交差点、水道タンクのところより北上する幅員12メートルの道路が旧称・水道道路地下に3本の水道本管が埋めてあり、もともと水道管の敷設用地であったのが昭和12年9月から道路として利用される様になりました。そして、松原交差点の近くに石碑があり、当時の首相の名で「井の頭街道文麿」と彫った石碑が建っています。そこに井の頭街道命名の由来が彫ってあります。後の昭和37年に俗称で呼ばれていた道路名を「井の頭通り」と名付けられました。

風土記 森 泰樹